

世界が平和になればアメリカは破綻する!
日本も連鎖破綻をまぬがれない「世界でもっとも不都合な真実」

軍事資本主義国家の正体 『アメリカは世界の平和を許さない』

(著者)大村大次郎

(価格)1300円+税 〈発売日〉2017年12月8日 〈出版元〉ビジネス社

株式会社ビジネス社(東京都新宿区 代表取締役:唐津隆)は、新刊書籍『アメリカは世界の平和を許さない』を 2017 年 12 月 8 日に発売いたしました。ぜひ、貴メディアにてご紹介いただけますと幸いです。

◆ アメリカの軍事資本主義は限界にきている!

アメリカは世界一の借金大国ながら、未だに世界経済の中心に居座っています。世界の景気は、アメリカの株式市場に大きく影響を受けますし、アメリカのドルは、国際貿易の共通通貨であり続けています。これは、よく考えれば、非常に不自然なことです。借金が多いということは、破綻の危険性が高いということです。実際、アメリカは、連邦政府は法津ギリギリまで国債を発行しており、何度も破綻の危機を迎え、法律を改正することでどうにか回避してきています。そういう国の通貨が、未だに世界貿易の決済に使われているのです。なぜこうのことになっているのでしょうか?これには、「資本主義」の本質が関係していると考えられます。資本主義は、単純な「経済競争」ではありません。経済競争の背景には、常に軍事力があります。自由に競争しているようで、実は軍事力の影響が大きいのです。



【本書の構成】

序章——豹変したトランプ大統領 / 第1章——アメリカ経済は破綻寸前 / 第2章——なぜアメリカ経済は凋落したのか?

第3章——ドルが基軸通貨であり続ける理由 / 第4章——邪魔されたユーロの挑戦 / 第5章——絶妙のタイミングで起きた「9・11」

第6章——アメリカがイラク戦争を仕掛けた本当の理由 / 第7章——ドルの地位を脅かす者たち

/ 第8章——「世界通貨」の発行しか解決策はない

【著者】大村大次郎(おおむら・だいじろう)

大阪府出身。元国税調査官。国税局で10年間、主に法人税担当調査官として勤務し、退職後、経営コンサルタント、フリーライターとなる。執筆、ラジオ出演、フジテレビ「マルサ!!」の監修など幅広く活躍中

【お問い合わせ先】 株式会社ビジネス社 広報担当:松矢〒162-0805 東京都新宿区矢来町114番地 神楽坂高橋ビル5F

TEL03-5227-1602 / FAX 03-52271603

著者への取材、企画ご協力、読者プレゼントご対応も承ります。